

臨床研究に関する情報公開について

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	微小変化型ネフローゼ症候群における治療反応性の予測モデルの構築		
実施予定期間	研究実施許可日 ～ (西暦) 2028年 3月31日		
実施診療科	腎臓内科		
研究の審査等	臨床研究審査委員会審査日	2026年3月30日	
	研究実施承認日	2026年6月16日	
対象となる方	対象期間内に、けいゆう病院腎臓内科において、微小変化型ネフローゼ症候群と診断された方		
対象期間	(西暦) 2013年1月1日～(西暦) 2025年8月31日		
主たる研究実施機関	慶應義塾大学病院		
共同研究機関	【研究組織】参照		
当院の研究責任者	所属	腎臓内科	氏名 松田 洋人
研究の意義	微小変化型ネフローゼ症候群は、成人ネフローゼ症候群の主要な病型の一つであり、一般にステロイド治療に対する反応性は良好とされております。しかしながら、一定の割合でステロイド抵抗性を示す症例が存在し、治療の長期化や免疫抑制薬の追加を要するなど、临床上重要な課題となっております。そこで本研究は、微小変化型ネフローゼ症候群患者を対象として、電子カルテ内で尿蛋白選択性および血尿を含む治療開始時の臨床情報を用い、ステロイド抵抗性を予測する指標の構築を行います。		
研究の目的	微小変化型ネフローゼ症候群におけるステロイド抵抗性を予測する指標の構築を目的とします。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、集められた情報をインターネット上のデータベースへ登録します。		

研究に使用するもの	診療録から得られる情報を匿名化した上で使用します。(年齢、性別、生年月日等の基本情報、疾患情報、血液検査、尿検査、腎病理結果、投薬内容)
診療情報等の他機関への提供方法	必要なデータを、研究代表機関である慶應義塾大学病院の研究代表者へ、匿名化したうえでセキュリティーのかかったファイルにて送付します。
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定ですが、個人を特定できる情報として公表されることはありません。
個人情報の保護	対象者となる方の情報使用に関しては、個人を特定できる情報を削除して番号(匿名化)を付けた上で研究責任者の責任のもと厳重に管理・保管します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。 当院での実施にあたり、必要な費用はありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
お問い合わせ	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 電話 045-221-8181 (代表) 内線 2341 腎臓内科 松田 洋人

【研究組織】

1 研究代表者

慶應義塾大学病院 畔上 達彦

2 共同研究者、研究実施施設

所属	責任者
佐野厚生総合病院	村上 円人
埼玉メディカルセンター	山路 安義
東京都済生会中央病院	小松 素明
立川病院	二木 功治
けいゆう病院	松田 洋人
川崎市立川崎病院	安藤 孝
足利赤十字病院	室久 俊光
川崎市立井田病院	滝本 千恵
東京歯科大学市川総合病院	徳山 博文
東邦大学医療センター大森病院	小口 英世
東京女子医科大学病院	星野 純一
亀田総合病院	鈴木 智